

風通信H3年6月号

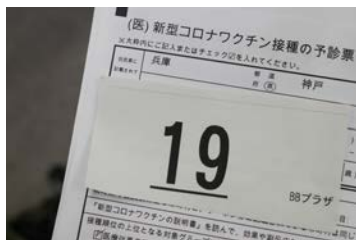
神戸市灘区六甲台町5-31カルム六甲1F
むらまつ歯科医院 (078-871-4180)

ワクチン接種も本格的に稼働し始めました。新型コロナの収束はワクチン接種状況にかかっていると思われませんが、ワクチンの作用機序、メリットデメリット、副反応について、中和抗体の獲得の程度などについて、ある程度理解した上で接種するかどうかを検討することが大切かと思えます。個人的にはメリットの方がとても大きいと思っております。

<ファイザーワクチン1回目>

ワクチン接種1回目に行ってきました。場所は岩屋のBBプラザ…9時45分に会場入りして予診票チェックに15分待ちくらい…接種して15分待機…次回の接種の予約を取って会場を出たのが10時半です(笑顔)次回の予約はちょうど3週間後の同じ時刻のみ取ることが可能のようです。筋肉注射ですが、痛くない訳ではありませんが、採血より痛みは少ないんじゃないかな？

あっという間に終わります♪
夕方くらいか



ら接種部位に違和感というか痛みとか…僕は次の日も発熱もなく痛みもほとんどありませんでしたが、一緒に接種に行ったスタッフは夜に若干発熱したり、次の日に腕が痛いという感じのようです。いずれの症状も次の日の日常生活や仕事には影響はないくらいです。痛みや発熱がしんどい時は、ロキソニンを使わずにカロナールを使いましょう。2回目の方が発熱の頻度も高いようなので、またレポートします。

<新型コロナワクチンの作用機序>

新型コロナウイルスのワクチンについて簡単に解説を…

従来の生ワクチンなどとは異なりウイルス抗原の遺伝子を用いたワクチンです。メッセンジャーRNAという遺伝子を体内へ注入し新型コロナウイルスの周囲のトゲトゲの部分だけを、体の中で安全に大量に作ります。

新型コロナウイルスに実際に感染することなく、ウイルスの特徴的な形だけを記憶して抗体免疫を高めることができます。mRNA遺伝子は不安定な物質のため自然に分解され細胞外へ排泄されます。mRNAワクチンは急いで作られたものではなく、かなり前から研究開発が進められていました。細胞内に大量にmRNAが入ってくると、細胞はそのmRNAを異物とみなし

mRNAを壊そうとします。そこで、mRNAが異物と認識されないよう、mRNAの一部を変えたものがワクチンとして使用されています。今回のmRNAワクチンは、基礎研究から応用研究までを含めた研究の集大成とも言えます。怪しい情報も出回っていますが、ワクチンの作用機序を理解することが大切ですね。

<ワクチン接種後の鎮痛剤>

新型コロナワクチン接種後の発熱が嫌だから、鎮痛剤を飲んでからワクチン接種に行く…という患者様がいらっしゃいました。

「ワクチン接種の直前・直後に解熱鎮痛薬を服用することで、ワクチンの免疫応答を引き起こす能力が妨げられる可能性がある」という見解が有力です。「熱があるということはワクチンの効果を誘発しているかもしれないのだから、それをお薬で抑えちゃダメ」ということですね。世界保健機関も、「解熱鎮痛薬の使用はワクチン接種前またはワクチン接種時に推奨されないが、ワクチン接種後副反応がある場合は認められる」と明言しており、アメリカ疾病対策センター（CDC）もこれについて同意しています。

ワクチン接種後の発熱などについて心配な方は、かかりつけ医に相談してみてください。